

2026（令和8）年度 広域単位互換科目 命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習 シラバス

*科目 No.

2105

科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部		開催方法	■対面（東広島キャンパス）	
	正式科目名 副題	命の尊厳を涵養する食農フィールド 科学演習		配当年次	1, 2, 3年
	受入学年				
学問分野	番号	33	名称	農学	
3. 担当教員名	黒川勇三・磯部直樹・新居隆浩・鈴木直樹・妹尾あいら				
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	前期集中		
6. 開講期間 曜日・時間	2026年9月8日（火）～ 2026年9月11日（金）				
7. 基礎知識の有無	・「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	20 人	9. 選考方法	受講希望者が定員を超えた場合は、受講希望理由の内容を検討した上で、低学年の学生（本演習体験を所属大学の授業に生かす可能性が高い）から選抜する。		
10. 科目内容・ 授業計画	<p>広島大学酪農エコシステム技術開発センター（以下、農場）では、太陽の恵みを受けて育てた作物で家畜を飼い、家畜の恵みとしてミルクや肉、羊毛を生産している。「命の尊厳を涵養する食農フィールド科学演習」は、本農場を活用して、教員と農場技術職員の協力により実施している。本演習では受講生が、草と家畜と土の循環のなかで食の源を生産して食品に加工していく過程を、講義と実習、討論を通じて学び、食と農業と環境の関わり、動物の福祉、SDGs、他の生き物の命によって生かされている人間の存在について考える機会を提供することを目的としている。</p> <p>※様々な感染症の拡大状況や、天候不良等により、開講の中止や内容の一部変更、日程の変更等を行うことがあります。また受講希望者が5名以下の場合には開講を中止する場合があります。</p> <p>演習スケジュール（予定）</p> <p>9/8（火）：西条駅集合、農場へ移動しガイダンス 農場の見学と課題の説明、家畜の福祉について考える（農場）</p> <p>9/9（水）：午前：家畜のエサやりと乳搾りを体験する 人と動物の関係、農業生産と環境、SDGsについて考える（農場） 午後：家畜の体内の構造と仕組みを見る（生物生産学部） 家畜の命と食について考える、体験発表会の準備（農場）</p> <p>9/10（木）：午前：家畜のエサやりと乳搾りを体験する 家畜の命を支える大地の働きを探る（農場） 午後：家畜の命を実感する、牛の体温と心拍数測定 牛乳の試飲とバター作りをする、体験発表会の準備（農場）</p> <p>9/11（金）：午前：体験発表会（生物生産学部講義室） 昼頃に西条駅解散</p>				
11. 試験・評価方法	受講態度、発表、受講後のレポートで評価する。フィールドを活用した演習なので農場の規則を守れない受講者は不可となる可能性があります。				

12. 別途負担費用	<p>昼食費（2,000 円程度）を現地で徴収します。集合場所までの旅費、演習中の宿泊費（宿泊費の一部を大学で負担する予定です）、朝食・夕食は自己負担です。</p>
13. その他特記事項	<p>●受講人数：20 名程度</p> <p>本授業科目は、広島大学他学部（生物生産学部以外の学部）と他大学の非農学系学部の大学生（専門学校・高専の学生を含む）のために開講されるものです。希望者が定員を上回る場合は、低学年の学生（1、2 年生：本演習の体験をその後の自大学の授業で生かす可能性の高い）から選抜します。一度<u>受講が認められた方は、くれぐれもキャンセルには慎重になってください。受講できなかった人のことを考慮してください。事前に自分の予定と演習の日程を調整した上でお申し込みください。</u></p> <p>●傷害保険：事前に学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険（財団法人日本国際教育支援協会）相当の傷害保険に加入しておいてください。</p> <p>●集合日時：令和 8 年 9 月 8 日（火）の 13 時に JR 山陽本線 西条駅前（南口のロータリー）に集合してください。大学が準備したバスで農場まで送迎します。昼食は集合時間までに済ませておいてください。なお、演習最終日の 9 月 11 日（金）は昼頃にバスで JR 西条駅前まで送迎します。</p> <p>注）通学を希望する方は、令和 8 年 9 月 8 日（火）13 時 20 分までに農場に集合してください。演習最終日の 9 月 11 日（金）は生物生産学部で解散します。</p> <p>●宿泊場所：東広島市内のホテル（ビジネスホテル）に宿泊していただく予定です（宿泊費の一部を大学で補助する予定です）。ホテルから農場までは毎日バスで送迎いたします。朝食および夕食（ホテル周辺の飲食店やコンビニ等を利用）は各自でとっていただきます。自宅が近い等の理由で通学を希望する（宿泊しない）ことも可能です。</p> <p>●持参物：マイナ保険証か資格確認書、マスク（ただし、作業中は別途作業用不織布マスクを配布します）、体温計、作業以外の時に着る動きやすい服（虫対策のため半ズボンやスカート等は不可）、帽子（サンバイザー不可）、水に濡れたり汚れたりしても構わない靴（サンダルやヒールのある靴は不可）、雨具（カッパ）、筆記用具、洗面用具、タオル、身の回り品等。作業用のつなぎや長靴、マスク等、演習中に必要なものはこちらで用意します。 ※持ち物の詳細については受講者が確定し次第、個人宛にメールで案内しますので、<u>常時連絡の取れるメールアドレスを正確に記入してください。また、その際につなぎ及び長靴のサイズの確認と海外渡航歴の確認をしますので、必ず返信してください。メールでの連絡の際には必ず氏名と所属大学を明記してください。</u></p> <p>●注意事項：</p> <p>①<u>災害の発生や天候の状況（台風等）、様々な感染症の拡大状況によっては開講の中止や内容の変更もあります。また受講希望者が 5 名以下の場合には開講を中止する場合があります。</u></p> <p>②<u>授業の直前の時期に体調不良になったときは、授業開始前に必ず下記の間合せ・連絡先まで連絡してください。体調不良の原因や状況によっては、出席をご辞退いただく場合があります。</u></p> <p>③<u>家畜伝染病（口蹄疫）の予防措置のため、演習日前の 2 週間以内に海外渡航を予定しておられる方については受講を認めない場合がありますので、受講を申し込まれる前に問い合わせてください。特に演習日前の 2 週間以内に口蹄疫発生地域（中国・韓国等）からの帰国を予定されている方は受講できません。帰国がこれらの期間より前であっても、海外で使用した衣服や靴を農場内に持ち込むことはできません。さらに本演習前に国内の家畜農場や家畜関連施設（食肉センターを含む）に立ち入られた方またはその予定のある方も事前に下記までご相談ください。</u></p> <p>④演習中は決められた場所以外への出入りはできません。演習期間中の移動は送迎バスを利用します。</p> <p>⑤<u>広島大学構内（附属農場を含む）は全面禁煙です。</u></p> <p>●欠席・遅刻の通知方法：やむなく欠席・遅刻する場合は 1 週間前までに所属大学学生係および広島大学生物学系総括支援室まで必ず連絡をしてください。</p> <p>【間合せ・連絡先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学生物学系総括支援室 〒739-8528 東広島市鏡山 1-4-4 TEL：082-424-4323 E-mail: sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp ・ 広島大学酪農エコシステム技術開発センター 准教授 黒川 勇三 〒739-0046 東広島市鏡山 2-2965 TEL：082-424-7973 E-mail: yuzokuro@hiroshima-u.ac.jp